

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員からお知らせします。

営農指導員の  
ワンポイントアドバイス

営農指導員 永奥 啓

ベニバナの栽培

経営上の特性

ベニバナはアザミに似たオレンジ色の花で、派手ではありませんが、病害虫の被害が少なく、比較的栽培しやすい花です。ただし、大量に使われる花ではないため、播種(種まき)時期をずらしながら、少量ずつ出荷するのがよいでしょう。



作型

温度さえあれば年中栽培できますが、夏期は花が貧弱な姿になるため、高温長日を避けた、4月の播種で7月上旬開花の作型や、8月播種で10月下旬開花の作型を選ぶのが適当です。

栽培の方法

① 播種

ベニバナは移植を嫌うため、広い面積で栽培するときには直播をしますが、小面積ならポット育苗などが良いでしょう。

② 肥料

肥料が多いと、ポリウムのある花になりますが、茎が太くなりすぎて、品質が低下するため、少なめの肥料とします。よく肥えた畑であれば無肥料でもよいくらいです。

③ 定植と管理

12センチ間隔くらいの密植気味に定植します。  
8月播種の作型では定植後1週間くらいは日よけをするとよいでしょう。なお、この作型では台風シーズンになるため、フラワーネットは必ず設置します。  
定植直後しばらくは十分水やりして生育を促進しますが、つぼみが見え始めたら少しづつ水やりの量を減らして、がっちり締まった姿に仕上げます。

問い合わせ

農業振興課農業振興係  
☎0824・73・1131

庄原が  
好き



「庄原が好き」でつながろう

家族が好き。子どもが好き。友だちが好き。地域が好き。このコーナーでは、人と人とのつながりを大切にしながら、自発的なまちづくりに取り組む皆さんをシリーズで紹介します。

「こんなサークルがあるんだ」  
「こんなことをやってるんだ」

市民の皆さんが庄原の魅力を再発見し、もっと好きになることを願っています。

SNSの投稿募集中

家族のつながりや子育てのこと、地域での活動や美しい自然風景など、SNS(会員制交流サイト)を使った投稿を募集しています。庄原の魅力を全国に発信してください。

投稿には、「#庄原が好き」を付けてください。皆さんの投稿をこのコーナーで紹介させていただきます。予定です。



「#庄原が好き」で投稿!!

※「庄原が好き」というタイトルは、第2期庄原市長期総合計画の基本理念「みんなが、好き」と実感できるまちづくり」と庄原市まちづくり基本条例の前文中「庄原大好き」に由来しています。  
※インスタグラムやツイッターなどのSNSに投稿したメッセージの言葉やフレーズの前に#(ハッシュタグ)を付けると、同じようなタグ付きメッセージを収集することができ、そのハッシュタグが含まれる全メッセージの検索もできます。

問い合わせ

自治定住課定住推進係  
☎0824・73・1257

※3月号3ページ「比婆いざなみ街道物語」中「②小奴可の要害桜」の紹介文に誤りがありました。お詫びして次のとおり訂正します。

(訂正文) ②小奴可の要害桜 亀山城跡の一角に咲いている樹高17mのエドヒガンで、県内有数の巨樹です。大きく広がりながら花を咲かせ、地元では「要害桜」と呼び親しまれています。